

国立能楽堂開場 30 周年記念 特別展示列品講座

『桃山時代の能装束に見る刺繍』

講師：岡田宣世（女子美術大学教授）

日時：平成25年11月10日（日）

13時～15時

場所：国立能楽堂大講義室

国立能楽堂 30 周年記念特別展示では、国指定重要文化財の能装束 14 領を順次出陳しております。その室町～桃山時代の能装束にみる意匠表現の最大の特徴は、ほとんどが刺繍と箔押しによる加飾だと言っても過言ではありません。それらは、色彩の写実性にも絵画的遠近法にも拘泥せず、心の赴くままに花鳥風月を刺繍し、更にその隙間を金銀箔で埋め尽くしています。しかし、その中にも当時の美意識や原材料の特性、刺繍技法の流行など、一定の時代の法則を見出すことが出来ます。

今回は、刺繍技術研究の第一人者で多くの文化財修復も手掛けておられる、女子美術大学の岡田宣世教授に、桃山時代の能装束に見る刺繍技法をご紹介します。

◆入場無料

◆定員 160 名

※この講座ははがきでの申し込みは不要です。

12 時より整理券を御渡します。（開場時間 12 時半）

定員になり次第締め切らせていただきます。

◇内容等に変更が生じる場合があります。あらかじめご了承下さい。

◇講座の日程等は、日本芸術文化振興会ホームページでもご確認いただけます。

◇駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

◇問合せ先 国立能楽堂調査資料係

Tel 03-3423-1331 (代)



 国立能楽堂

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1